

管外調査報告

H29. 3. 23

舞鶴市議会議長
上野修身 様

会派に所属しない
議員 西村正之

このため、管外調査を実施いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 参加者氏名 西村正之
- 2 管外調査先 神奈川県大和市
茨城県水戸市
鳥取県米子市
- 3 期 間 平成29年2月1日～2月3日
- 4 経 費 82027円
- 5 結果の概要

(1) 視察先：神奈川県大和市

ア 視察内容

学力向上支援事業「放課後寺子屋やまと」について（事業実施の経緯、効果の検証、今後の展望等）について

イ 調査目的

空き教室、特別教室等を活用し、国語及び算数を中心に宿題やプリント等による自習において、分からない部分を指導者がサポートすることについての効果等について視察する。

ウ 所 見

市立小学校に通う児童が、放課後の学習支援を受けようことにより「わかる喜び、できる喜び」を体得する中で学習習慣を身に付けるとともに基礎学力の定着を図ることにより各学校関係者一たとなり取組がありその成果が上がっていることが感じられた。本市におき、これを学ぶ取組を学ぶことの必要性を実感いたしました次第であります。

(2) 視察先：茨城県水戸市

ア 視察内容

学力向上推進事業「さきがけプラン」について(事業実施の経緯、効果の検証、今後の展望等)について

イ 調査目的

学力向上サポーターの活用、家庭学習定着のための保護者への啓発事業、及び幼保小中「英会話教育」の実施等、学力向上の取組状況について、その効果の検証を行う。

ウ 所見

広い世界で活躍できる資質、能力の育成を目指し、確かな学力の定着、向上及び自己表現力の育成並びに英会話力の向上の取組に力をおかれ、学力向上推進事業が鋭意前向きに実施されている。中でも、物事を筋道立てて考える心の働き、物事の道理を正しく判断し、適切に処理する能力を育成することから、「知恵を伸ばす「まごころもくす」ということを根底に児童教育が実施されており、その成果は、上っているものと評価するものであります。

本市についても、水戸市「さきがけプラン」について学んで得るところがあるのではないかと実感した次第であります。

(3) 視察先：鳥取県米子市

ア 視察内容

議員定数について(定数削減に至る協議の経過、定数削減後の変化、その他の議会活性化の取組)について

イ 調査目的

米子市においては、平成17年12月26日条例改正により定数30人としてきたが、平成24年7月2日条例改正により定数削減がなされ定数26人として現行運用されているが、そのおかげで、定数削減後の変比等について、実際のとらえを視察する。

ウ 所見

米子市においては、平成17年12月26日条例改正により定数30人としてきたが、平成24年7月2日条例改正により定数が削減され現行定数26人として運用されてきているが定数削減の変化等についてお尋ねをさせていただきましたが、削減後の現状として、定数26人としたことで、常任委員会の数を従来の4委員会から3委員会として運用する一方で議員の在り方として地域議員としてではなく米子市全体をみず議員として活動して取りまわすことから、これによって議会の機能が低下するようではないとの見解を伺っております。